

大館市農業委員候補者(個人による推薦)の状況

No.	被推薦者(推薦を受ける人)										推薦者				農地利用最適化推進委員への推薦の有無	
	氏名	性別	年齢(歳)	職業	資格	経歴		農業経営の状況		認定農業者であるか否かの別	氏名	性別	年齢(歳)	職業		推薦理由
						年月	職名・役職等	営農類型	耕作面積等							
1	松江 博	男	67	農業	該当する	S51.7～H8.6 H8.6～H21.6 H21.6～H30.6 H30.6～現在 H19.3～現在	比内町農協に勤務 あきた北農協(合併後の名称)に勤務 あきた北農協常勤理事 専業農家 認定農業者	水稲 そば 花卉 (露地栽培 テッポウユリ) (ハウス栽培 トルコギキョウ)	1.663ha 3.2ha 0.2ha 230坪	認定を受けている	松江 俊明	男	69	自営業	候補者は、長年にわたる農協職員、常勤理事として、農業者の農業資金や経営相談業務に携わり、地域農業振興に貢献してきております。また、自ら認定農業者となって、水稲プラス花卉栽培の複合経営確立に努め、現在は専業農家として活動しております。 近年、平坦地でも萱などが生える遊休農地があったり、担い手が耕作していた土地が、遊休農地となっていたり残念な状況も見られます。また、特に稲作において農作業の大幅な遅れ(6月下旬か7月上旬の田植)が見られ、これが大館産米の食味の悪化や農地の管理不足による病害虫の多発にも影響するだろうと危惧しており、許可後の一定の期間の現地確認の強化、担い手の状況(保有農機・労働力等)把握や新規参入を促進しつつも地域の意見・状況等も日々把握しながら委員会で意見を述べ、的確な許可審議に貢献したいという意志があるので必ず活躍してくれるものと期待し推薦するものです。	無
											松江 仁	男	71	農業		
											松江 金明	男	70	農業		
2	石山 元一	男	69	農業	該当する	S44.4～現在 S53.1～H16.4 H24.7～現在	就農 警備会社勤務 大館市農業委員	水稲 畑	2,800a 40a	認定を受けている	花田 昭治	男	71	農業	地域の少子・高齢化が進み、若者の在住者が年々減少し、とりわけ若者の農業従事者がほとんどいない中で、これまで地域の担い手として、また、地域の声の代弁者として農業委員として地域農業を支えてきた。地域の遊休農地の解消のため、地域巡回や調査・相談など積極的に活動し、自らその耕作に務めて来たことは地域の農家が一様に認めてきたところである。地域農業のありかたについても、これまでの体験などを通じて、農地集約の必要性や農機具の効率的活用など指導的役割を果たしているところである。今後、地域農業が生き残るうえで圃場整備が必要になった際、これまでの経験を生かし農業者の説得などに取り組んでいただきたい。以上のことから石山元一氏を農業委員に推薦するものです。	無
											小笠原 恒義	男	71	農業		
											前田 主幸	男	60	農業		
3	浅利 瑞徳	男	60	農業	該当する	H26.4～現在 H29.8～現在 H30.4～現在 H31.3～現在	就農 大館市農地利用最適化推進委員 農政推進員 大森町内会役員	水稲 畑 ・スナップエンドウ ・オクラ 他	188a 20a	申請中	成田 常正	男	85	農業	昨今の離農による耕作放棄地の増加で農地、さらには農村機能の維持が危惧されている状況にありますが、当該地区周辺も例外ではなく、非常に危機感を感じております。遊休農地の発生防止、そして農地の利用促進と適正な管理に今まで以上に地域一体となって取り組んでいかなければならないと考えております。今まで農地利用最適化推進委員として活動してきておりましたが、さらに地域農業の維持・発展に貢献したいと強い意志を持っており、地域のリーダー的存在として率先して活動に取り組んで頂けると確信し、農業委員に推薦致します。	有
											阿部 清士	男	76	農業		
											阿部 伊之助	男	73	農業		
4	佐々木 定俊	男	68	農業	該当する	S62～現在	就農	水田	500a	認定を受けている	前田 嘉英	男	69	農業	後継者の育成に尽力していただきたく推薦します。	無
											前田 主幸	男	60	農業		
											津嶋 清二	男	76	農業		

大館市農業委員候補者(団体による推薦)の状況

No.	被推薦者(推薦を受ける人)										推薦者					農地利用 最適化推 進委員への 推薦の有無		
	氏名	性別	年齢 (歳)	職業	資格	経歴		農業経営の状況		認定農業 者であるか 否かの別	名称	目的	代表者又は 管理人の氏 名	構成員 の数 (人)	構成員たる 資格		法人・団体の 正確を明らか にする事項	推薦理由
						年月	職名・役職等	営農類型	耕作面積等									
1	富樫 英悦	男	67	農業	該当 する	S55.4～現在 H 8.4～H28.4 H 8.6～H12.6 H10.8～H30.4 H18.9～現在 H24.7～現在 H30.3～現在	就農 あきた北山の芋部会 あきた北部会連絡協議会 会長 真中・南土地改良区理事 秋田県指導農業士 大館市農業委員 あきた北稲作部会副会長	水稻 山の芋 作業受委託	18.0ha 1.2ha 12.0ha	認定を受け ている	JAあきた北山の 芋部会	山の芋栽培者相互の連 絡協調を図り、栽培者の 健全なる発展と経営の安 定に努めると共に、部会 員の社会的、経済的地位 の向上を目的とする。	因幡 成弘	40人	JAの組合員 であって、こ の部会の主 旨に賛同す る山の芋栽 培者	JAあきた北 山の芋部会 規約による。	指導農業士、農業委員、稲作副会長として地域の 農業後継者、新規農業者を参集し、基本的な稲作技術 会を開催しながら仲間作りなどの活動を積極的に実践 しています。20年以上土地改良区役員に在職し、農地 の実情を良く把握して農地の売買、貸借、集積、作付 指導など地元農家の相談役を担っています。多面的機 能支払交付金活動の地区の副代表として活動計画の 立案、実践活動を牽引しながら農地の有効利用促進と 遊休農地の発生防止など適正な農地管理に貢献でき るものと思っているため推薦しました。	無
2	安部 幸美	男	72	農業	該当 する	S41.4～現在 S58.4～現在 S61.5～H8.5 H3.6～現在 H12.6～H30.6 H14.7～現在 H15.2～H27.3 H15.3～H25.3 H15.6～現在 H17.4～現在 H19.2～現在 H19.6～H25.3 H23.7～現在 H25.3～現在	就農 餅田町内会副会長 大館市農業協同組合理事 大館市認定農業者 あきた北農業協同組合理事 大館市農業委員 大館市消防団副団長 秋田県指導農業士 大館比内森林組合理事 大館北秋田森林組合理事 餅田集落営農組合組合長 JAあきた北稲作組織連絡協議会会長 大館市農業委員会会長職務代理者 JAあきた北稲作部会副会長	稲作 畑 (アスパラ, 里芋)	5.34ha 82a	認定を受け ている	JAあきた北稲作 部会	稲作生産者相互の連携 を図り、栽培技術の研 鑽、生産技術の交換によ り健全な発展と経営の安 定に努めると共に、部会 員の経済的地位の向上 を図ることを目的とする。	安部 幸美	298人	JAの組合員 であって、こ の部会の主 旨に賛同し、 地域内の 稲作生産 者、集団、 集落営農組 織、法人等 をもって組 織する。	あきた北農 業協同組合 稲作部会規 約による	稲作に偏重した秋田県で、激変する米政策の対応に 取り組む稲作部会の役割は大きく、農地の更なる利活 用により生産性を向上させなければならない本部会の 副会長として手腕をふるう安部氏は、農業経験も豊富 でその人柄から数々の役職も務め、現在も農業委員会 会長職務代理者として調整役を務めており、私たちの 声の代弁者として、また、豊富な経験を担い手へ継承さ せるため、今後も委員を継続してもらいたいと考え推薦 するものです。	無
3	菅原 和久	男	72	農業	該当 する	S45～現在 S53～H元 H24～H27 H27～H29 H29～現在 H8～現在 H25.3～現在 H10～R元 R元～現在 H19～H24 H24～現在 H28～現在 H5～H17 H17～現在	就農 釣田農業生産組合会計 釣田農業生産組合組合長 釣田農業生産組合副組合長 釣田農業生産組合組合長 JAあきた北 総代 JAあきた北稲作部会副会長 比内町土地改良区 総代 大館市土地改良区 総代 釣田クリーン保全隊会計 釣田クリーン保全隊副代表 釣田町内会長 比内町農業委員 大館市農業委員	水稻 農作業受託 畑	8.7ha 14.5ha 40a	認定を受け ている	JAあきた北稲作 部会	稲作生産者相互の連携 を図り、栽培技術の研 鑽、生産技術の交換によ り健全な発展と経営の安 定に努めると共に、部会 員の経済的地位の向上 を図ることを目的とする。	安部 幸美	298人	JAの組合員 であって、こ の部会の主 旨に賛同し、 地域内の 稲作生産 者、集団、 集落営農組 織、法人等 をもって組 織する。	あきた北農 業協同組合 稲作部会規 約による	現在JAあきた北稲作部会副会長として、稲作農家 の中心的な役割を担っており、平成5年より比内町農業 委員、平成17年より大館市農業委員として活躍しており ます。 地域からの信頼も厚く地域農業、農地の現状にも精 通しており、農業委員会の業務に貢献できる適任者とし て推薦いたします。	無

大館市農業委員候補者(団体による推薦)の状況

No.	被推薦者(推薦を受ける人)										推薦者						農地利用最適化推進委員への推薦の有無	
	氏名	性別	年齢(歳)	職業	資格	経歴		農業経営の状況		認定農業者であるか否かの別	名称	目的	代表者又は管理人の氏名	構成員の数(人)	構成員たる資格	法人・団体の正確を明らかにする事項		推薦理由
						年月	職名・役職等	営農類型	耕作面積等									
4	木次谷 和明	男	65	農業	該当する	S48.3～現在 S55.6～現在 H8.3～現在 H15.6～H25.5 H18.10.20～現在 H26.7～現在 H26.6～H29.5 H30.6～現在 H26.7～現在 H20.4～現在 H20.4～現在 H20.4～現在 H26.1～現在 H26.1～現在 H26.1～現在 H27.4～現在	就農 大館市消防団第17分団員(現在17分団部長) 大館市土地利用組合設立 代表組合長 北鹿農業共済組合理事 農業法人株式会社百姓設立 代表取締役 大館市農業再生協議会理事 秋田広域農業共済組合北鹿支所統括理事 秋田県農業共済組合理事 大館市農業委員 米代川筋環境保全会理事 東水利組合組合長 葛原保全隊長 葛原自治会長 葛原水利組合長 十二所地区連絡協議会理事 大館応援プラン、葛原老犬神社を観光拠点にする会会長	水稲 17ha 農作業受託 40ha 畑 2ha	認定を受けている	秋田県農業共済組合	組合員が不慮の事故によって受けることのある損失を補填してその農業経営の安定を図るため、農業保険法に基づき農業共済事業を行うことを目的とし、次の共済事業を行う。 (1)農作物共済 (2)家畜共済 (3)果樹共済 (4)畑作物共済 (5)園芸施設共済 (6)任意共済(建物共済及び農機具共済に限る)	佐々木 昌志	理事 37人 監事 4人	水稲、陸稲及び麦の耕作面積の合計が10a以上 牛、馬又は豚につき養畜の業務を営む者 5a以上の果樹農家、畑作農家 ほか	秋田県農業共済組合定款による	木次谷和明氏は大館地域の農業振興に貢献されており、平成8年より大館市土地利用組合を設立し、大館市全域より当初約60ha、現在40haの減反作業受託を受け農地の放棄、遊休農地防止に貢献しており、平成18年には農業法人(株)百姓を設立し地域の中心的役割を担っている。現在、秋田県農業共済組合理事として今後の大館市農業への関心が非常に高く、農業知識もあり、地域農業の中心的役割も担っていることから、この度秋田県農業共済組合は木次谷和明氏を大館市農業委員の適任者として推薦します。	無	
5	斎藤 重春	男	67	農業	該当する	S46.8～H25.3 H25.4～現在 H27.7～現在 H28.4～現在	大館市農業協同組合入組(兼業農家) 専業農家 大館市農業委員 雪沢産直にこにこ友の会会長	水田 主食、飼料 米の生産 200a 畑 玉ねぎ、 ジャガイモ、 キャベツ 25a 減反農地 ソバ 30a	認定を受けている	有限会社アグリ川田	水稲、畑作等の経営、農作業の受託、農産物の加工販売等付帯する一切の業務	川田 将平	3人	なし	有限会社アグリ川田定款による	水稲の生産性が低い中山間地である雪沢地区で、畑や沼を利用した多様な農産物の販売に取り組み、農協・農業委員の経験を踏まえ担い手を発掘し、活性化に寄与する、又、耕作放棄地の縮小に努めている。 また、水田の生産性向上を図るための基盤整備事業の推進に尽力しており、地域農業の発展に貢献している斎藤氏は、今後も農業委員として活躍してもらいたいと推薦するものです。	無	
6	北村 鉄正	男	70	農業	該当する	H2～現在 H18.11～現在 H20.7～H29.7 H29.7～現在 H20～現在 H21～現在 H22～現在 H23～現在 H26.4～現在	JAあきた北総代 下味噌内自治会長 大館市農業委員 大館市農地利用最適化推進委員 JAあきた北支部長会会長(東館地区) JAあきた北受検組合長(東館地区) 宿内土地改良組合組合長 下味噌内環境保全隊長 大館市消防団本部副団長	水稲 1.30ha 畑 20a	認定を受けていない	下味噌内自治会	集落内住民の和を基調に連帯感を深め、集落環境の整備と改善に努め、住み良い村づくりを目的とする。	佐藤 国雄	200人	下味噌内町内の住民	下味噌内自治会規約による	現在、農業を取り巻く状況は非常に厳しいものがあります。その一因となっているのが若者の農業離れ、高齢化による人手不足が挙げられます。 また、安定した農業経営を目指す農地の集積が進んでおりますが、大規模に営農する農家では耕作しやすい整備された農地が対象となり、耕作しにくい農地は集積されません。 こうしたなか、小規模農家がかんばって大規模農家から残された農地を耕作できる環境を整えることが、喫緊の課題であると思います。当地区でも取り組んでいる多面的機能支払交付金事業は、農地の環境を守る有効な事業でこうした取り組みも含め地域交流や活性化を目指し地域全体で農地を守っていくことが肝要であると強く認識しております。 北村氏は、これまでも地域の代表として、また小規模農家の代弁者として大館市農業委員会の委員をはじめ、JAや共済、土地改良区の運営に尽力しており、今後も地域の代表として北村氏に継続して活躍していただきたいと思い、推薦するものです。	有	

大館市農業委員候補者(団体による推薦)の状況

No.	被推薦者(推薦を受ける人)									推薦者						農地利用最適化推進委員への推薦の有無		
	氏名	性別	年齢(歳)	職業	資格	経歴		農業経営の状況		認定農業者であるか否かの別	名称	目的	代表者又は管理人の氏名	構成員の数(人)	構成員たる資格		法人・団体の正確を明らかにする事項	推薦理由
						年月	職名・役職等	営農類型	耕作面積等									
7	伊藤 昇	男	72	農業	該当する	H19.3～現在 H4.1～H25.3 H10.8～H30 H19.4～現在 H20.1～H24.1 H20.5～H23.5 H20.7～H24.7 H20.7～現在 H25.1～現在 H26.2～R2 H27.5～現在	就農 小館花町内会長 大館市防犯協会城西支部長 小館花地域環境保全隊代表 小館花郷中副委員長 大館市南土地改良区総代 あきた北農業協同組合大館東支店協議会会長 大館市農農業委員 米代川筋土地改良区連合理事 大館市交通安全協会神明支部長 農事組合法人ファーム小館花代表理事	水稲 えだまめ	48ha 15ha	認定を受けている	農事組合法人ファーム小館花	組合員の農業生産についての協業を図ることによりその生産性を向上させ、組合員の共同の利益を増進することを目的とする。	伊藤 昇	59名	農事組合法人ファーム小館花定款第9条で定めるもの	農事組合法人ファーム小館花定款による	平成24年、米代川流域に位置する上川沿地区圃場整備事業計画が示された際、伊藤氏が先頭に立ち、地域・集落の取りまとめを行い、行政側との話し合いや交渉を担って貰い、平成27年の農業法人の立ち上げにおいても中心的な役割を担っていただきました。農業委員選挙においても地域からの信頼を得て当選しています。農事組合法人を設立するにあたり、事業計画をどう具体化していくのかということと未来を託す後継者、担い手をどのように確保するのが私たちにとって大きな問題であります。私たちの集落は、水稲単作地域で、とても高度な農業技術を要する野菜農家にはなり得ない事、更には担い手となるべき若い人は外へ勤め出て農業従事者としては残念ながら当てにならない状況であります。重なりますが、担い手の育成確保というのが今最大の問題であります。事業初年度は圃場整備事業参加にあたっての上川沿地区4法人で結成した「事業推進協議会」での合意事項によりエダマメの町、大館市を実践しております。大館市農業の発展のため地域代表として伊藤昇氏を推薦するものです。	無
8	畠山 秀義	男	75	農業	該当する	H16.4～H17.6 H17.6～H19.4 H23.7～H29.7 H29.7～現在 H27.2	比内町議会議員 大館市議会議員 大館市農業委員 大館市農地利用最適化推進委員 株式会社 大館ハチ公ファーム 設立	水稲 タラの芽 畑(かぼちゃ、野菜)	65ha 2ha	認定を受けている	畠山地域資源保全隊組織 一通環境保全隊 農事組合法人板戸農事組合 株式会社大館ハチ公ファーム	構成員による農地維持活動又は資源向上活動を通じ、畠山・一通地域に存する農用地、水路、農道等の地域資源及び農村環境の保全並びに水路・農道等の施設の長寿化を図ることを目的とする。 農畜産物の生産販売、食料品の製造・加工販売、貯蔵、運搬及び販売、ドライブインの経営及び直売所の経営。農業生産に必要な資材の製造販売、農作業の受託 ほか	高橋 房彦 長谷部 孝栄 畠山 秀義 畠山 秀義	28名 9名 37名 5名	地域住民 地域住民 — —	組織規約による 保全隊規約による — 法人定款による	近年の農業情勢は以前とくらべ衰退の一途をたどっている。背景には、農業者の高齢化や後継者不足によることが大きな要因となっており、結果、離農者が増加している。また、農業を辞める人が増えると、農地は荒れ、病害虫の被害も増えて、コメの品質にも影響している。このような情勢の中、畠山秀義さんは、これまで農業委員、農地利用最適化推進委員の経験を生かし、地域の担い手として法人を立ち上げ、農地の集積活動にも尽力している。よって、農地の集積や遊休農地を増やさないため、今後も活躍していただきたく推薦いたします。	有
9	高坂 千悦	男	63	農業	該当する	S56.4～現在 S63.4～H29 現在の役職	就農 株式会社秋田クボタ 本郷地域資源保全会代表 田代土地改良区総代 ほか	水稲 畑	1,050a 50a	認定を受けている	田代農作業受託組合	農作業受委託を円滑に進め、農地、労働力、機械施設等の効率的利用を図り、農業経営の安定を期することを目的とする。	田村 秀雄	23名	地域農業の担い手若しくは担い手を目指す意欲ある農業者及び集団をもって構成する。	田代農作業受託組合規約による	氏は、田代地区において土地改良区の総代、早口大堰の自主管理委員会副会長、地域においては早口本郷地域資源保全会を立ち上げ、代表として地域農業に関わる等農業委員として資すると考えます。 本人に意向を確認しましたところ、氏も大館市の農業者として将来を見据えた活動をしたいとのことですので、推薦と致します。 本推薦は、令和2年3月13日に当組合総会において承認されたものであります。	無

大館市農業委員候補者(団体による推薦)の状況

No.	被推薦者(推薦を受ける人)										推薦者					農地利用最適化推進委員への推薦の有無		
	氏名	性別	年齢(歳)	職業	資格	経歴		農業経営の状況		認定農業者であるか否かの別	名称	目的	代表者又は管理人の氏名	構成員の数(人)	構成員たる資格		法人・団体の正確を明らかにする事項	推薦理由
						年月	職名・役職等	営農類型	耕作面積等									
10	阿部 重信	男	62	農業	該当する	S51.4～S61.8 S62.7～現在 H7.4～H20 H7.4～現在 H19.2 H26.7～現在 H28.4～現在 H30.2～現在	住友銀行 就農(比内地鶏ふるさと牧場開設) JAあきた北比内地鶏生産部副会長 比内町消防団第6分団入団 現在部長 大館市認定農業者の会理事 就任 大館市農業委員 秋田県立大館桂桜高等学校学校評議員 大館市認定農業者の会副会長 就任	比内地鶏 畑 アスパラ	12,000羽 36a	認定を受けている	大館市認定農業者の会	認定農業者の農業経営の安定を目指し、会員相互交流、情報交換などにより地域農業の担い手として計能力の向上を図りながら、本市の農業の振興と発展に寄与することを目的とする。	小畑 公悦	189人	大館市の認定農業者	大館市認定農業者の会規約による	阿部氏は平成19年から当会の理事として活動していただいております。平成30年には当会副会長に就任いただき、当会の発展にご尽力いただいております。当会は「大館市の農業の振興と発展への寄与」を理念としており、阿部氏はそれを第一に実践している方であり、特に地域農業に関する影響は非常に大きいものであります。 大葛地区は高齢化率が非常に高く、農業の担い手不足が懸念されている地区であります。そのような状況の中、阿部氏は地域の若手農業者を集め、「青若会」を立ち上げ、顧問に就任しております。青若会では、地域振興のため、不作付地にソバを作付けし、遊休農地化を防ぐ活動に取り組んでおります。また、顧問として、農業技術指導など、若手農業者の育成に力を入れております。 自身の経営については、比内地鶏(飼育12,000羽)の出荷率は毎年高い出荷率を維持しており、今年から本格的な出荷期に入るアスパラガスについては、比内地鶏の鶏ふんを堆肥として使用するなど、地域に根差した循環型農業を実践している。 経営の把握及び分析の実践にも積極的に取り組んでおり、農業者の手本となる人物であることから、再度大館市農業委員として活動していただき、大館市の農地の適正な管理を行うとともに、大館市の農業振興に尽力していただくべく、推薦するものです。	無
11	渡辺 久雄	男	71	農業	該当する	S48～現在 S50～S60 H13.4～H18.3 H18.4～H28.4 H12.5～H17.6 H17.7～現在 H12.4～H17.6 H17.7～H19.7 H11.7～H17.6 H17.7～現在 H17.7～H23.7 H21.5～H27.4 H27.5～現在 H13.4～H26.4 H19 H16.4～現在 H26.4～H28.3	就農 五日市地区第2次構造改善機械利用組合長 五日市転作組合長 五日市営農組合長 比内町認定農業者 大館市認定農業者 比内町認定農業者協議会会長 大館市認定農業者の会副会長 比内町農業委員 大館市農業委員 大館市農業委員会会長職務代理者 大館北秋田森林組合理事 大館北秋田森林組合代表理事副組合長 秋田県指導農業士 H19年度秋田県農林水産大臣賞受賞(売れるもの作り経営体部門) 比内水稲直播研究会会長 大館市農業担い手育成事業連絡会会長	水稲 パイプハウス 多品種野菜 花卉(ダリア) 山菜	3ha 2,500坪	認定を受けている	五日市営農組合	農作業の受託及び組合員の農業の共同化を通して組合員の効率的な農業経営の実現及び農地利用改善実施区域における農用地の利用集積を図るとともに、農業生産法人化計画に定められた計画事項の実施により、地域農業の担い手として発展していくことを目的とする。	畠山 幸夫	17人	五日市地区農用地利用改善団体が行う農用地利用改善事業の実施区域内に農用地の使用収益権を有する農用地利用改善団体の構成員その他の者とする。	五日市営農組合規約による	渡辺氏は地域農業のリーダーのみならず、秋田県内や大館市においても農業の発展や栽培技術向上にも精力的に活躍されております。また、五日市営農組合においても設立当初から10年間組合長を務め、地域農業の現状や農家事情等を把握し、組合の発展と稲作以外の転作作物への取組みに対しても積極的に組合員を牽引して頂きました。また、現在、長内沢地域の基盤整備事業の令和5年調査実施(予定)と、それに対応する農業法人の設立に向け、営農組合の役員として積極的に取り組んでいます。今後につきましても、これまでの農業委員としての経験を活かし、担い手対策や耕作放棄地問題の解決にも益々貢献してくれることを確信しておりますので、適任者として推薦するものです。	無

大館市農業委員候補者(団体による推薦)の状況

No.	被推薦者(推薦を受ける人)										推薦者					農地利用 最適化推 進委員への 推薦の有無		
	氏名	性別	年齢 (歳)	職業	資格	経歴		農業経営の状況		認定農業 者であるか 否かの別	名称	目的	代表者又は 管理人の氏 名	構成員 の数 (人)	構成員たる 資格		法人・団体の 正確を明らか にする事項	推薦理由
						年月	職名・役職等	営農類型	耕作面積等									
12	島山 博実	男	67	農業	該当 する	S46.3～H10.3 H10.4～現在 H15.4～現在 H23.4 H26.1 H27.4 H28.1	千秋薬品株式会社 就農 大館市認定農業者 農事組合法人ファーム島山 設立 大館市認定農業者の会会計 就任 (株)バイテックファーム大館取締役 就任 大館市認定農業者の会副会長 就任 大館市農業再生協議会幹事 就任	耕作面積 (内訳) 主食用米 1,500a 飼料用米 1,300a 大豆 1,400a 山ウド 100a 枝豆 1,000a	5,300a	認定を受け ている	大館市認定農業者の会	認定農業者の農業経営の安定を目指し、会員相互交流、情報交換などにより地域農業の担い手として計能力の向上を図りながら、本市の農業の振興と発展に寄与することを目的とする。	小畑 公悦	189人	大館市の認定農業者	大館市認定農業者の会規約による	島山氏は、平成15年に当会大館支部の副支部長に就任後、理事、会計を歴任し現在は副会長として、長年にわたり会の発展に尽力いただいております。当会は「大館市の農業の振興と発展への寄与」を理念としており、島山氏は、それを第一に実践している方であり、地域農業に関しての影響力は非常に大きなものであります。 また、近年の労働力不足のなか、社員育成や臨時職員の雇用のみならず、比内支援学校からの実習生の受け入れを行うなど、多角的な視点から労働力の確保に取り組んでいます。 自身の経営も順調で、今年は130aの増反を計画しており、さらなる規模拡大を目指しております。 また、島山氏は市の耕作放棄地が増加していることを懸念しており、耕作放棄地発生の原因の調査や、利活用の方法を模索するなど、耕作放棄地の解消へ積極的に行動されております。 常に大館市の農業の将来を見据えて行動されている島山氏に、農業委員として活動していただき、大館市の農業の振興と発展に尽力していただくべく、推薦するものです。	有
13	小畑 美恵子	女	61	農業	該当 する	S52.4 H元.8～現在	平和台ドレス勤務 就農	水稻	286a	否	JAあきた北女性部	協同活動、学習活動を通じて、JA運動を理解し、実践し、女性の社会的地位の向上と、明るく豊かな地域社会を築くことを目的とする。	嶋田 恵子	1,359人	JAあきた北管内に居住する組合員家族、その他この会の目的に賛同するものをもって組織する。	JAあきた北女性部規約による。	家族と共に農業に従事しながら、JAあきた北女性部二井田地区の支部役員として、女性ならではの視点から、より充実した農業を目指しております。 さらに、JA女性部の活動により、年代にかかわらず婦人会などを含め、広く交流を深めて多方面へ積極的に行動しております。 これらの経験を農業委員として大館市の農業政策に活かし、さらに組織へ繋いで頂きたいと思い推薦いたします。	無
14	藤盛 久登	男	62	農業	該当 する	H12.4～現在 H21～現在 H12～H22 H26.7～現在 H30～現在	就農 あきた北農業協同組合花卉部会長 北秋田地区花卉連絡協議会会長 大館市農業委員 秋田県ダリアアドバイザー	ハウス 露地 ダリア デルフィニ ウムシネン シス ほか	1,175㎡ 2,800㎡	認定を受け ている	あきた北農業協同組合花卉部会	花卉栽培者相互の連絡協力を図り、栽培者の健全なる発展と経営の安全に努めるとともに、部会員の社会的・経済的地位の向上を目的とする。	藤盛 久登	20人	JAの組合員家族であって、この部会の趣旨に賛同し、現に花卉の栽培者及び栽培希望者を以って組織する。なお、JAの施設等を利用しようとする栽培者も加入できる。	あきた北農業協同組合花卉部会規約による	JAあきた北花卉部会長として長きにわたり部会の先頭に立ち栽培農家の技術向上・良品質花卉の生産拡大に尽力、平成24年度からデビューした秋田県オリジナル品種「NAMAHAGEダリア」に当初から取り組み、ダリア産地の確立に貢献。 栽培技術も評価され、平成30年には秋田県ダリアアドバイザーに就任、新規栽培者への技術指導、巡回等の活動を行っている。また、遊休農地を自ら借り入れ耕作し、農地の利用促進と今後の農業生産の振興に貢献できるものと思ひ推薦します。	無

大館市農業委員候補者(団体による推薦)の状況

No.	被推薦者(推薦を受ける人)									推薦者						農地利用最適化推進委員への推薦の有無		
	氏名	性別	年齢(歳)	職業	資格	経歴		農業経営の状況		認定農業者であるか否かの別	名称	目的	代表者又は管理人の氏名	構成員の数(人)	構成員たる資格		法人・団体の正確を明らかにする事項	推薦理由
						年月	職名・役職等	営農類型	耕作面積等									
15	島山 繁司	男	58	農業	該当する	S55.3～H26.6 H26.7～現在 H26.11 H27.4 H29.1 H29.7 H30.1 H31.3 H31.4 R2.2 R2.3	株式会社 山二 兼業農家 専業農家 十二所土地改良区 総代 大館市消防団第17分団 団員 農協十二所支部 支部長 別所水稲集団栽培組合 理事 JAあきた北 農協総代 別所自治会 理事 農事組合法人別所農事組合 理事 大館市土地改良区 総代 大館市消防団第17分団 班長 中岱地区ほ場整備事業推進協議会 副会長 別所水稲集団栽培組合 組合長	水稲 畑 露地野菜 にんにく・ねぎ 他	1,200a 50a	認定を受けている	別所自治会	自治会員の親睦をはかり、豊かな明るい生活と住みよい環境を作り、福祉の向上を目的とする。	島山 宏秀	63人	地区内に居住する世帯主を似て構成する。	別所自治会会則による	最近の地域農業の衰退に憂いを感じ早期退職して6年、現在専業農家として頑張っております。その内容も高齢化で耕作できなくなった農地、耕作放棄状態の農地等率先して借入れ、地域農地維持に貢献しております。経営では、数名による協業形態により直播・密苗の導入、減反ではにんにく・ねぎなどの作目を導入し経営改善に取り組んでおります。地域活動においても法人組合・自治会・集団組合の役員、改良区の総代、農協の総代及び支部長として周りの組織活動の先頭に立って活躍しております。 また、現在当地域での計画進行中の基盤整備事業の推進協議会副会長として将来の地域農業の核となるべく日々活動しております。 以上のことなど、これまでの就農実績をかんがみ現在抱えている農業の問題を農業委員としてその業務に大いに貢献できるものと考え農業委員に推薦いたします。	無
16	菅原 一成	男	62	農業	該当する	S51.4～現在 S56～H27 S61～H10 H6～H24 H7～H25 H9～H30 H10～H25 H12～現在 H19～H31 H31～現在 H25～H30 H25～H27 H25～H27 H25～H27 H27～H30 H27～H30 H29～現在	就農 比内町消防団第4分団員 秋田北部ホップ農業協同組合理事 比内第一ホップ組合組合長 秋田県ホップ組合連絡協議会理事 秋田広域農業共済組合畑作物部会評価委員 秋田北部ホップ農業協同組合副組合長 農林水産省農林水産統計業務拜命 比内町土地改良区理事 大館市土地改良区理事 秋田北部ホップ農業協同組合代表理事組合長 秋田県ホップ組合連絡協議会副会長 大館市消防団比内第4分団分団長 全国ホップ連合会代表監事 全国ホップ連合会副会長 秋田県ホップ組合連絡協議会会長 大館市農業委員	アスパラガス 水稲 露地野菜	80a 100a 30a	認定を受けている	大館市土地改良区	農業生産の基盤の整備及び開発を図り、もって農業の生産性の向上、農業総生産の増大、農業生産の選択的拡大及び農業構造の改善に資することを目的とする。	島山 清俊	理事 19人 監事 3人	土地改良区の組合員である事	大館市土地改良区定款による	認定農業者として畑作を中心とする農業経営に従事しており、地域の農業振興に努めています。1985年自身の畑作経営の参考にするためヨーロッパへの研修をするなど意欲ある農業を行っています。 平成9年より比内町土地改良区の理事として、又、平成31年より合併後大館市土地改良区の理事を務めており、不在地主や耕作放棄地について大きな危機感を持ちながら、農地基盤整備の必要性を強く持っている。又、後継者不足から農業の売買、賃借、集積を進め法人化による安定した経営が出来る基盤づくりが必要と考えている。 大館市土地改良区では、農地を適正に管理するために改良区からの農業委員を選任することが必要と考え、今回の改選にあたり農業委員の経験があり当土地改良区理事である菅原一成を適任と考え推薦します。	無

大館市農業委員候補者(団体による推薦)の状況

No.	被推薦者(推薦を受ける人)										推薦者					農地利用 最適化推 進委員への 推薦の有無		
	氏名	性別	年齢 (歳)	職業	資格	経歴		農業経営の状況		認定農業 者であるか 否かの別	名称	目的	代表者又は 管理人の氏 名	構成員 の数 (人)	構成員たる 資格		法人・団体の 正確を明らか にする事項	推薦理由
						年月	職名・役職等	営農類型	耕作面積等									
17	小林 大樹	男	67	農業	該当 する	S46 S54～S59 S59～現在 H4～H24 H24～H28 H5～現在 H9～現在 H12～現在 H18～現在 H20～現在 H24～現在 H24～現在 H29～現在	大館島内農機社 秋田ヤンマー農機株式会社 就農 大館市消防団員 大館市消防団第13分団分団長 二井田小坪川原町内会会計役員 大館農業共済組長 大館市二井田真中土地改良区監事 大館鹿角農業共済組合総代 大館市二井田真中土地改良区理事 大館市二井田真中地区土地改良区会計理事 大館市農業委員 あきた北農業協同組合種子生産部会副会長	水稲種子 水稲 山の芋 その他	588.7a 65.0a 25.0a 10.0a	認定を受け ている	あきた北農業協 同組合種子生産 部会	大館市二井田地区に居 住する農業経営者で、 県が指定する種子生産 者で組織し、種子生産の 共同化を図り、部会員相 互の親睦と農業経営の 確立を期し、生産の向 上、発展を図ることを目 的とする。	一関 清子	20名	大館市二井 田地区に居 住する者 で、米の指 定集荷登録 及び支払金 融機関登録 はあきた北 農業協同組 合に登録し ている者に 限る	あきた北農 協種子生産 部会規約に よる	最近の、水稲種子の生産は、周辺地区での馬鹿苗病 の発生異型株、雑草の抜き取り、指定農薬の散布など があり苦勞もあります。 また、種子圃場以外では、雑草の抜き取りや病虫害 の発生など管理が不十分なところが目立つようになって きております。そのため、周辺地区の農家と話し合い理 解を深めてきております。 さて、農業委員会に推薦する、小林大樹は、当種子 部会の副会長です。二井田地区と、大館市の農業の発 展に頑張れるものと思ひ推薦します。 令和2年現在、会員20名、栽培面積54ヘクタール、総 売り上げ高1億5千万円程になっています。また、今年も 1名の新人が入りました。近い将来、協業化を進めたい と考えて大型コンバイン2台を導入するなど省力化を進 めているところです。宜しくお願ひいたします。	無
18	小畑 純市	男	57	農業	該当 する	S58～現在 H18.2～現在 H22.11～H30.11 H23.4～現在 H24.4～現在 H25.7～現在 H29.4～現在	就農 大館市認定農業者 大館市二井田財産区議会議員 あきた北農業協同組合総代 農業共済組合共済部長 大館市二井田真中土地改良区総代 大館市社会福祉員	主食用米 飼料用米 加工米 大豆 野菜 ・露地 ・ハウス	1,500a 300a 1,200a 200a 70a 30a	認定を受け ている	大館市二井田真 中土地改良区	農業生産の基盤の整備 及び開発を図り、もって 農業の生産性の向上、 農業総生産の増大、農 業生産の選択的拡大及 び農業構造の改善に資 することを目的とする。	安達 英樹	組員 491名	大館市二井 田真中土地 改良区定款 による	認定農業者として長年にわたり農業に従事しながら、 地域の農業振興に大きく貢献、土地改良区総代では 長年にわたり議長職を務め、また二井田財産区議会議 員も歴任するなど、地域のリーダーとして信頼されてい る。また当二井田地区においていち早く農業の法人化 を実現させ、ハウスを利用した冬期間の雇用を確保し 農業における年間雇用体系を確立させるなど、先駆的 な取組みは、地域農業の将来モデルとして担い手農家 から高い評価を得ている。 農協青年部時代を含め、あきた北農協や農業共済の 総代、支部長など数々の役職を経験しながら、農業が 抱える担い手や後継者問題、法人化への転換や担い 手への農地集積、遊休農地の解消など、地域の農業事 情全般を把握しており、農地を適正に管理していくため にも、知識と経験豊富な小畑純市氏が適任と考え推薦 いたします。	無	

大館市農業委員候補者(団体による推薦)の状況

No.	被推薦者(推薦を受ける人)										推薦者					農地利用 最適化推 進委員への 推薦の有無		
	氏名	性別	年齢 (歳)	職業	資格	経歴		農業経営の状況		認定農業 者であるか 否かの別	名称	目的	代表者又は 管理人の氏 名	構成員 の数 (人)	構成員たる 資格		法人・団体の 正確を明らか にする事項	推薦理由
						年月	職名・役職等	営農類型	耕作面積等									
19	渡邊 久留美	女	59	農業	該当する	S54.3～H5.4 H5.4～現在	会社員 就農	水稻 150a 飼料用米 300a 種子大豆 320a 直売所野菜 10a 施設トマト 400㎡		認定を受けていない	大館市農家生活 研究グループ連 絡会	農家の生活向上活動 に、意欲のあるグループ や会員によって構成し、 より快適で安定した、将 来に渡って安心できる農 家生活を営むための方 法について研究すると ともに、その成果の情報交 換を行い、実践活動を通 じてよりよい農家ライフ スタイルの実現の役立て ることを目的とする。	石垣 誠子	大館 40名 比内 22名	大館市に在 住する規約 の主旨に賛 同できる人	大館市農家 生活研究グ ループ連絡 会規約によ る	渡邊久留美さんは、現大館市生研グループ比内地区 会長を務められており、会の活動として、缶詰づくりや 生ゴミから作る環境にやさしいEMボカシ堆肥作りや、 高校生への郷土食出前講座等の会の活動にも積極的に 参加協力し、「ふれあいとと館」においても学校給 食への食材提供や各部会の担当部長等として中心的 存在として活動されています。 現在はJA東館地区女性部会計や平成23年からは女 性農業士に認定され、監事なども務めてきています。 自営においても施設野菜作りなど、多方面にて活動・ 活躍されている方です。今後の活動も期待できる 存在です。 会としてぜひ、農業委員に推薦させていただきます。	無
20	虻川 マキ子	女	73	無職	該当 する	S57.4～H18.3 H6.1～H26.5 H10.10～H11.3 H15.4～H26.3 H17.4～現在 H18.4～現在 H21.4～H26.3 H29.7～現在	大館市農業協同組合婦人部真中地区副会長 大館市民生委員(主任児童員) 大館市立南中学校教育相談員 大館市少年補導員 大館市交通安全協会理事 大館市連合婦人会真中地区会長 大館市女性センター運営委員 大館市農業委員	なし	なし	認定を受けていない	大館市消費者の 会	消費生活に関する知識 を普及し消費者の意見 を関係機関に反映させ、 生産者、販売者の協力 を得て「健康で豊かな市 民生活の向上」をはかる ことを目的とする。	虻川 絹江		市内に在住 する消費者 で本会の趣 旨に賛同し 任意加入し たものをも って組織す る。	大館市消費 者の会会則 による	虻川マキ子さんは、大館市農協婦人部真中地区副会 長として25年間にわたり農業団体にかかわり、農業に 関する知識や経験を持っているほか、民生委員を20年 間務められ、更には大館市交通安全協会理事、大館 市連合婦人会真中地区会長、大館市農業委員として 現在も活躍されており、人望も厚く、多くの方から信頼さ れております。 私達、大館市消費者の会は、消費者の立場から「健 康で豊かな市民生活の向上」をはかることを目的にした 組織であり、食の安全を進める上で農業に関すること や、お米や野菜などを育てる農地のことも重要なものと 考えております。 現在、食を生産する農家さんの高齢化や後継者不足 が心配され、担い手の確保と耕作放棄地の発生防止が 大きな問題となっておりますが、この問題解決に向け て、これまでの知識と経験を活かし活躍していただき たく、大館市消費者の会は、虻川マキ子さんを大館市農 業委員に推薦いたします。	無

大館市農業委員候補者(団体による推薦)の状況

No.	被推薦者(推薦を受ける人)									推薦者						農地利用 最適化推 進委員への 推薦の有無		
	氏名	性別	年齢 (歳)	職業	資格	経歴		農業経営の状況		認定農業 者であるか 否かの別	名称	目的	代表者又は 管理人の氏 名	構成員 の数 (人)	構成員たる 資格		法人・団体の 正確を明らか にする事項	推薦理由
						年月	職名・役職等	営農類型	耕作面積等									
21	糸屋 由衛 門	男	71	農業	該当 する	S42～現在 H元～現在 H5～現在 H5～現在 H7～現在 H8～現在 H9～現在 H8.7～現在 H14～H17 H23～現在 その他現在の役職	就農 農事法人上川沿牧野組合理事 中山果樹組合長 大館市農業推進委員 JAあきた北果樹部会副部会長 上川沿公民館運営審議会委員 社団法人秋田県果樹協会監事 大館市農業委員 大館市農業委員会会長職務代理者 大館市農業委員会会長 秋田県農業会議理事及び常設審議委員 県北地区農業委員会会長会会長 大館市行政協力員 上川沿牧野組合理事 中山自治会副会長	果樹 ・梨 ・リンゴ	1.8ha	認定農業 者に準ずる	あきた北農業協 同組合果樹部会	果樹栽培者相互の連絡 協調を図り、栽培者の健 全なる発展と経営の安定 に努めるとともに、部会 員の社会的、経済的地 位の向上を目的とする。	石垣 修	62名	農協の組 合員であ つて、こ の部の 趣旨に 賛同し、 現に果 樹の栽 培者も つて組 織する。	あきた北農 業協同組 合果樹部 会規約に よる	糸屋氏は農林高校卒業後に果樹の専業農家となって 以来、常に地域の果樹生産者の先頭に立ち、果樹農 家にとって大きな負担となっている共同防除の維持を 図るため、果樹組合による防除班を組織し活動を続け るなど、大きな実績を残しております。 更に、生産の拡大と品質の向上にも取り組み、県と協 力して梨の品種改良の手伝いや、洋梨ワインの開発、リ ンゴでは秋田紅あかりの増殖に取り組むなど、ブランド 品の生産で農業経営の安定化、生活の向上にも寄与 しております。 また、自ら息子を担い手として育て上げ、地域の果樹 生産者の担い手を育てようと、防除や剪定の講習会を 実施するなど、各地で担い手不足が問題となっている 中、当地域の担い手の育成に大きく貢献をしております。 大館市行政協力員、上川沿牧野組合理事、中山自 治会副会長と地域のための活動にも地道に取り組み、 地域を離れた活動として、大館市農業委員会会長や秋 田県農業会議の理事、県北地区農業委員会会長会会 長としての役割を全うし、その人柄は内外から高い評価 を得ております。 こうしたことから、あきた北農業協同組合果樹部会とし ては、私共果樹生産者の代弁者として、また、大館の農 業生産者の代表として大館市農業委員会をこれまで以 上に強くけん引していただきたく、糸屋氏に農業委員を 継続していただきたいと願ひ推薦するものです。	無